

春時雨の3月18日土曜日、東洋英和女学院大学大学院の学位授与式が六本木校地で行われ、人間科学研究科19名、国際協力研究科3名、計22名の修了生に修士の学位が授与されました。

星野学長より、晴れてこの日を迎えた修了生に対して、チャールズ・ダーウィンの「最も強い者が生き残るのではなく、また最も賢い者が生き残るのでもない。唯一生き残るのは、変化する者である。」という言葉が引用され、「国際秩序の変容と政治経済の不安定化という環境変化の大波が押し寄せている中で生き残るためにわれわれ自身、変化をしなければならない。」との励ましのお言葉をいただきました。

修了生代表より「東洋英和女学院大学大学院での研究科を越えた教育体制が視野を広げることに繋がり、素晴らしい恩師、熱意と意欲に満ちた院生、心温かい職員の方々との出会いは人生の宝となった。」というお礼の言葉がありました。

修了生の皆さんは、将来の夢に期待を膨らませ、決意を新たにされたことでしょう。また、今回より東洋英和女学院の卒業式で古くから行われている慣行として、花ことばが「愛に応える」である黄色い水仙の花をご出席の教授から修了生一人ひとりに贈られました。

晴れて学位授与式を迎えた修了生は、東洋英和女学院大学大学院で養ってきた「学知」を携えて、謙虚に、そして一步一步着実に歩んでいかれることでしょう。東洋英和女学院の「敬神奉仕」の精神が、高度の専門職業人育成を目指す、現代の大学院として受け継がれている事を感じた一日でした。

大学院同窓会